



2023年8月29日

各 位

会社名 株式会社データ・アプリケーション  
代表者名 代表取締役社長執行役員 安原 武志  
(コード番号：3848)

問合せ先 取締役常務執行役員経営企画管理本部長 金子 貴昭  
(電話：03-6370-0909)

### 2024年3月期第1四半期決算質疑応答集

この質疑応答集は、2023年8月7日(月)の2024年3月期第1四半期決算発表以降において、株主・投資家の皆様からのお問い合わせおよび1on1ミーティングなどにていただいた主なご質問をまとめたものです。当社のご理解を賜る事を目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

#### 【業績について】

**Q.利益率の推移について、2019年までの粗利率は約80%であったが、直近では約70%となっており、この変化の背景を教えてください。**

**A.**2021年3月期から会計方針を変更(※)していること、戦略的にソフトウェアの売り切り(パッケージ)型からサブスクリプション型へ販売形態を移行・推進させていることが要因です。

※収益認識に関する会計基準の早期適用に伴う会計方針の変更についてはこちらをご参照ください。

[https://ssl4.eir-parts.net/doc/3848/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym1/84515/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/3848/ir_material_for_fiscal_ym1/84515/00.pdf)

**Q.パッケージで受注した大型案件について、詳細を教えてください。**

**A.**当第1四半期では、パッケージ(売り切り)で受注した大型案件を前倒しで売り上げることができましたが、パッケージでの販売は売上計上のタイミングに不確定要素も強く、計画に対する実績を大きく上振れ(下振れ)させる要因ともなっています。そこで当社としては、安定的に売上の計上が見込めるサブスクリプション型・ストック型の販売形態を加速させていきたいと思っています。詳細はnote(2024年3月期1Q決算まとめ3. 短信の補足)をご参照ください。

<https://note.com/dataapplications/n/n44898a6a7f9d>

Q.2024年3月期の業績見通しについて、営業利益が15.6%減はどのような要因でしょうか？

A.2023年12月に予定している事務所移転に伴う一時的なコスト発生が主要因です。移転についての詳細はこちらをご参照ください。

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3848/tdnet/2255130/00.pdf>

Q.移転のコストに関しては、期間でいうといつ計上されるのでしょうか。

A.3Q~4Qを予定しています。

Q.季節性の要因について、1Qと3Qが売上、利益ともに弱めで、2Qと4Qが強めの要因について教えてください。

A.パッケージ売上がお客様の予算消化時期にあたるためです。サブスクリプション型が推進されれば季節性の要因は徐々になくなり影響は少なくなると考えています。

Q.研究開発費について、2014年がピークですが、2019年から下がっているのはなぜでしょうか。

A.製品の成熟化に伴う製品維持コストの増加、リカーリングビジネス推進のため、開発方針の変更により売上原価が増加し研究開発費が減少したためです。

#### 【製品・事例について】

Q.サブスクリプション型について、パッケージ型から切り替えた背景と料金体系を教えてください。

A.お客様のソフトウェアの利用形態が所有からサービスへ変化していくことへの対応と、さらに当社としては、月額の利用料を積み上げることによるキャッシュフローの安定化が背景にあります。

料金については製品ごとに異なりますので一概に申し上げることはできませんが、以下は戦略製品であるエンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex」の例になります。

- ・アドバンスドエディション  
エンタープライズ向けデータ連携基盤 月額12万円～
- ・エンタープライズエディション  
エンタープライズ向けEDI連携基盤 月額6.4万円～
- ・スタンダードエディション  
スモールスタート用データ連携基盤 月額2.4万円～

### 【社内体制について】

Q.新卒の採用状況について、2023年4月に入社した新卒は何名でしょうか。また来期の新卒採用状況を教えてください。

A.2023年4月入社の新卒は1名です。来期は3名を予定しています。

### 【お知らせ】

HPや開示だけではお伝えしきれない、DALの情報・魅力をお伝えするためnote「DAL通信」を始めました。是非ご一読ください。

<https://note.com/dataapplications>



### 【株式会社データ・アプリケーション（DAL）について】 (<https://www.dal.co.jp/>)

DALは、1992年にUNIX向けの製品をリリースして以来、EDI（電子データ交換）を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS（Advanced Communication Management System）シリーズ」を提供してきました。「ACMSシリーズ」は、国内のEDIパッケージ市場でリーダーシップを確立しており、すでに2,600社13,500サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ビジネス変化に強く、新たなイノベーションを生み出す企業のデータ連携ソリューションを今後も提供してまいります。

<本件についてのお問い合わせ先>

経営企画管理本部
E-Mail：ir@dal.co.jp
Tel：03-6370-0909

※現在、働き方改革の観点から、在宅勤務と出社のハイブリッド勤務推奨のため、お電話でのお問い合わせの場合、折り返しのお電話になりますことをご了承下さい。

※当資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。また、会社の業績に影響を与え得る事項の詳細内容につきましては、決算短信の「事業等のリスク」をご参照下さい。しかしながら、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意下さい。

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E<sup>2</sup>X, WebFramer, RACCOON, OCRtran は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。